

春の高校バレー 第75回全日本高等学校選手権大会 長野県代表決定戦

女子は東京都市大塩尻が5連覇 男子は松本国際が雪辱を果たす

【大会副委員長 竹内 護】

今年度は、昨年以上に一般入場者を受け入れ、盛大に大会を行おうと準備を進めてきたのですが、11月に入ってから、またもや新型コロナウイルス感染症新規感染者数の急拡大があり、断念せざるを得ませんでした。

それでも12日(土)・13日(日)に長野市ホワイトリングで学校関係者と選手の家族だけは会場のゾーニングによって観戦を可能として、一次ラウンドを勝ち抜いた男女の上位8チームが集結。第75回全日本高等学校選手権大会(春の高校バレー)への出場権をかけた熱戦が繰り広げられました。

昨年に引き続き、高校生役員の派遣は厳しい環境にあり、人員不足が心配されましたが、北信地区各協会の協力を得ることができ、感染症対策を徹底した上で、無事運営することが出来ました。

今大会も1日目から熱戦が多く、特に準決勝では激しい攻防が続いて会場は大いに盛り上がりました。激戦の準決勝を勝ちあがり、決勝戦に臨んだのは男子が10年連続で松本国際高校と岡谷工業高校、女子は都市大塩尻高校と東海大諏訪高校となりました。



岡谷工業は1・2年生中心のメンバーで、15年ぶりに優勝した昨年に続く連覇に挑みました。第1セットは、堅さのみられた岡谷工業でしたが、第2セットに入ると全選手が躍動して主導権を奪い、セットを取り返しました。なかでも、井口の決定力は目を引くものがありました。ともに好レシーブを連発して激しい攻防が続き、見応えのある試合となりました。第3セットも接戦でしたが、松本国際が要所で徳留の強打や水口らのブロックが飛び出して逃げ切ると、第4セットも勢いそのままに奪い、昨年の雪辱を果たしました。

女子は、東海大諏訪が主将松村の強打を軸に、効果的なライト攻撃を絡めて必死に食い下がりましたが、都市大塩尻が堅実な守備から多彩な攻撃を展開。東海大諏訪に最後まで主導権を渡さずにストレート勝ちを収め、5連覇を達成しました。



代表となった両チームの選手権大会（春の高校バレー）での大活躍を期待します。以下に男女代表チーム代表者のコメントを記載します。

「春高バレー長野県予選を終えて」

【松本国際高等学校男子バレーボール部監督 壬生裕之】

今年度の春高バレー長野県予選を終え、今年1年間、大変多くの方々に支えられて、インターハイ、国体と共にベスト4という結果を残しているチームの集大成を迎えるであろう春高バレーの全国大会のスタートラインに立てたことに、心より安堵しています。

それと同時に、全国で成績を残していても、春高の全国大会に臨む前の段階に、出場権をかけた緊張感のある試合を経験できるこの長野県のバレーボールの環境に大変有り難みを感じています。

この時期まで時間をかけてやってきても、まだ課題を感じることでできる試合を体験し、チーム・個人共に伸びしろを実感できることは、嬉しくもあります。



この経験をすることによって選手達がまた一つ逞しくなれたことを、そしてこの環境に感謝し、長野県の多くの方々の想いを背負って、春高バレー全国大会に臨んできたいと思います。

今年のチームの集大成として、最後はきちんと結果にこだわり、長野県に明るいニュースを運んで来られるように、新年の東京体育館で頑張っ参ります。

最後になりましたが、大会関係者の皆様や、多くの協力者の方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

「第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会にむけて」

【東京都市大学塩尻高等学校女子バレーボール部主将 伊藤采音】

私たちは「日本一」を取ることを目標としています。その目標を達成するために、代表決定戦は「圧勝」×3を目標にして戦いました。今大会は、これまで強化してきた「サーブ」や「終盤での勝負強さ」にこだわり、明るく自分たちらしい試合をすることができました。準決勝、決勝戦では、学校関係者や保護者の皆様方のたくさんの応援が力になりました。

結果として優勝することができ、最後の全国大会で「日本一」へのチャンスを得ましたが、課題も見えました。今大会で確認した課題を残り一カ月で修正し、チームとしてさらにレベルアップしていきたいと思います。全国大会では、長野県の代表としての誇りとプライドを持ち、都市大の武器であるシンクロバレーを展開し、全力で戦って「日本一」を取ります。支えて下さるたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れずに、今までやってきたことを信じてプレーし、感動を与えられるような試合をしてきたいと思います。



長野県教育委員会表彰

小平富久さん、岡田隆安さんが、社会体育功労賞を受賞！

【県協会専務理事 村上里志】

この度、小平富久副会長と元常務理事の岡田隆安さんが、社会体育発展への長年のご貢献が評価され、県教育委員会より「社会体育功労賞」が授与されました。

小平富久さんは、平成3年に本会理事就任、以来30年以上に亘り理事を歴任、常務理事8年、副会長を15年間歴任されるなど、本会の発展に多大なご功績を残されています。その間、日本実業団連盟副会長、北信越実業団連盟会長、県実業団連盟会長などの要職を務め、実業団バレーの組織化と普及発展にも寄与されました。また、地元東信地区の組織強化を図り東信連盟を牽引されてきましたが、現在も上田市を中心に開催されるV2女子ルートインホテルズブリリアントアリーズホームゲームのゲームコーディネーターを務めるなど、その手腕を発揮され第一線でご活躍中です。

岡田隆安さんは、昭和 56 年年度の須坂市墨坂中学校での全国優勝を皮切りに、同中学校と長野市裾花中学校在職中に、全日本中学校選手権大会での優勝 4 回、準優勝 1 回、3 位 2 回と特筆すべき成績を残されました。平成 21 年度からは東京都市大学塩尻高校女子の監督に就任、平成 25 年の全日本高等学校選手権大会（春高バレー）では全国 3 位に輝くなど、指導者として、本県の中学・高校バレーを全国レベルに引き上げられました。

また、平成元年からは本会強化副委員長 8 年、強化委員長 7 年と 15 年に亘り本会の競技力向上に大きく貢献されると共に、平成 17 年からは、本会常務理事として、長野市で開催された 2 度の国際ビッグ大会（男子世界選手権大会など）を成功に導かれました。

その他、自らの指導理論を冊子・動画にまとめて公開するなど、ジュニア指導者の資質向上にご尽力され、県下中学女子指導のスタンダードとして継承されています。また、現在も本会が主管して毎年開催している「日本スポーツ協会公認指導者養成講習会」の専門科目講師として、後進の指導者育成にあたられています。

お二人の受賞につきましては、ご両名は勿論のこと、本会にとりましても誠に慶ばしいことと思います。尚、表彰式は、11 月 10 日（木）に、県庁にて執り行われました。



↑ 岡田隆安さん



↑ 小平富久さん

令和4年度 公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ1養成講習会を開催

【県指導普及委員 桑原康秀】

11 月 12 日（土）、26 日（土）、27 日（日）の 3 日間、大町市において標記講習会を実施しました。

今年度は 8 月に続き 2 度目の開催となります。県外からの受講者も多く、全体の約 1 / 3 の方が遠方より受講されました。

12 日の開校式に続き、県内で活躍をされています資格者の皆さまを講師に、決められたカリキュラムに沿いながら、特にコンプライアンスに重点を置いた内容の濃い講習会となりました。

中学校部活の地域移行にともない、中学校の先生方、クラブ関係者をはじめ、様々な方面からの受講者 30 名が受講。全員専門科目を修了し、共通科目の結果とあわせて令和 5 年 10 月にコーチ 1 として認定されます。

講師の先生方や受講生の方々、スタッフの皆様には感染対策にご協力いただき感謝申し上げます。



マルニシCUP 第40回長野県小学生バレーボール大会

男子は小布施が17回目の優勝 女子は豊科JVC 混合は県VESPAが初優勝

【県小学生連盟理事長 西澤悦郎】

岡谷市民総合体育館等で10月30日（日）、各地区を勝ち抜いた男子8チーム、女子16チーム、混合4チームで、標記大会を開催しました。

男子は小布施スポーツ少年団が17回目の優勝を飾り、女子は豊科JVC、混合は県VESPAが初優勝を果たしました。以下、各優勝チーム代表者のコメントです。

《小布施スポーツ少年団監督 鈴木直人》

（株）マルニシ様に協賛いただくようになって2回目の大会、本社のある岡谷市で、そして通常の通りの参加チームで、河西社長にも一日ご参加いただき、県大会が開催されたこと大変感謝しています。

しかしコロナ感染により、予選から参加を辞退したチームもあって、6年生最後の大会に参加できなかった子供たちが大勢いたことは本当に残念に思います。

夏の大会で準優勝の野沢アローズが一回戦負けと波乱のスタートになりましたが、小布施は7名の6年生がそれぞれの持ち場でいつも以上の活躍をしてくれました。決勝では、2セットとも18点まで先行されましたが、最後の最後、追い詰められた場面でキャプテンの飛沢君を中心にみんなで声を掛け合い、素晴らしい粘りをみせて逆転で取ることができました。今大会から声を出しての応援ができるようになり、父兄会だけでなく負けたチームの子供たちの声援ももらい、子供たちが飛躍してくれました。また一つ成長させて頂きました。

私とコーチの見海がマルニシの社員ということもあり、どうしても優勝したかった大会で、連覇できて本当に嬉しかったです。

最後に、今大会開催にご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。



《豊科JVC監督 丸山文生》

「2022年度マルニシCUP第40回長野県小学生バレーボール大会県大会を終えて」

10月30日に行われたマルニシCUP県大会に優勝でき、今年のチームの夢でもあり目標でもあった、全日本大会・スポーツ少年団大会を含めた県大会3冠を達成・実現できました。

マルニシCUPではプレッシャーが有る中、初戦・順々決勝・準決勝と良い形で勝ち上がり、スポーツ少年団との決勝戦では、持ち味の攻撃的サーブでミスが出たことと相手のエースの角度のある鋭いコース攻撃に苦しめられ、第1セットを落としましたが、第2・第3セットでは1セット目変えていたフォーメーションにも慣れて、いつもの粘りと攻撃のリズムが戻った勝利でした。普段の練習や練習試合での実践練習、全日本全国大会でのベスト8の経験と自信、スポ少県大会4試合のうち3試合がフルセットと“諦めない精神力”での逆転勝利という経験を積み上げた結果が出たことが嬉しく、選手の子供達を誇らしく思いました。

この結果も今まで携わって頂いた沢山の方々のお蔭と感謝しております。

チームとしては、6年生の小連での県内公式戦は終了し、新チームも始動しつつ3月末に予定されているスポーツ少年団全国大会（静岡県）に向けて練習に励んでいきます。

これからもこの経験を生かして指導者一同、指導に精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、チーム共々、今後とも皆様のご協力を宜しく願いたします。

最後に、今大会にご尽力頂いた県小連役委員の皆様と開催地小連の方々、この大会に携わって頂いた皆様、コロナ禍の中で運営が大変な中、開催をして頂き有難う御座いました。皆様に感謝いたします。



いた皆様、コロナ禍の中で運営が大変な中、開催をして頂き有難う御座いました。皆様に感謝いたします。

《 県VESPA代表 臼井秀明 》

県VESPAは10月30日、マルニシカップ長野県大会に南信混合の部代表として出場しました。6年生にとっては最後の大きな大会であり、我がチームも強い思いで臨みました。登録メンバー4人がコロナ関連で欠場という棄権手前の状態で危機感を感じつつも、軸が居たので何とか参加することができました。

初戦は中信代表の松本マーヴェラス鎌田でした。やはり名門チームはキチッとまとまった良いチームでした。2セットとも10点台前半に抑えて勝利したものの、なかなかボールが落ちないラリーの応酬で、決定力にアドバンテージがある県が勝つことが出来ました。決勝は東信代表の南牧ジュニアを破った北信代表の鬼無里でした。ここ2年、決勝戦がこの2チームで続いています。鬼無里は見事なレシーブ力と繋ぎでラリーの応酬でした。こちらも2セットとも10点台前半に抑えて勝利することが出来ましたが、点差以上にとっても見応えのある決勝戦にふさわしい試合でした。



今大会では、先の全日本小学生バレーボール大会で県代表となっている県VESPAには「優勝して当然」という期待とプレッシャーがのしかかっていたと思いますが、それを吹き飛ばすような6年生の意志の強さと、5年生以下の6年生を支えるプレーがたくさん見られました。最高の試合を総決算で表現してくれた選手たちでした。

指導者としては、保護者の皆さんの感激の涙や感謝を受けて、嬉しいというかホッと出来た感じです。苦楽を共にした6年生には感謝とこれからの活躍に期待し、5年生以下には引き続き「心ひとつに粘りのバレー」の県VESPAの精神を継いでいってもらいたいと願うところです。

JOCジュニアオリンピックカップ 第36回全国都道府県対抗中学バレーボール大会

北信越強化練習会(通称"5県対抗")が2日間で開催される

【県強化委員 木下久資】

12月下旬の大阪での本大会に向けて、北信越5県の中学選抜チームが集まった練習会が石川県能美市で開催されました。コロナ禍の中、昨年度は富山県での1日開催でしたが、今年度は通常通り11月12日(土)・13日(日)の2日間で開催されました。

しかし諸事情により、長野県男子チームは2日間とも参加を見合わせ、富山県女子チームも1日目のみの参加となりました。

《「北信越地区5県対抗練習会を終えて」 長野県中学女子選抜チーム監督 上沼隆光 》

「県外の、行ったこともないような土地で、ユニフォームを着て、顔を見たこともない選手たちと試合をする」ということがどれくらい不安なことなのか、実感できたのではないかと思います。各校部活動での宿泊もほとんどなかった年代ですから、体調面の管理も大変だと気がついてくれたことでしょうか。普段と違った環境への適応や緊張感への対処法など、バレーボールの技術以外に学ぶことが多い機会でした。

長野県選抜は、均等に2チームを作って戦いました。他にはそういう県はありません。そう考えれば、勝ち負けは妥当なところだろうと思いますし、全選手に均等に試合経験を積ませるという目標は達成できています。牛田団長からも「一人一人の技能はすごくよくなっている。チームとしてはまだまだですが、個々では負けていない」という感想を頂きました。我々スタッフの見解もこれと一致しています。しかし選手自身は、自分の技術・体力の不足やメンタルの弱さ、練習でやってきたことを発揮することの難しさを実感したのではないのでしょうか。私自身も、今までの指導を振り返るよい機会になりました。選手個々へアドバイスや指導の不十分さを実感しています。「実力をつけてあげられていない」「申し訳ない」と感じています。スタッフミーティングを行い、今後のチーム作りや個々の選手に対する指導について話し合いました。一人一人と話をし、「どのような方向を向いているのか、どんな希望や不安を持っているのか」など、理解した上でアドバイスしていくという点を確認しました。

VC長野トライデンツが岡谷市で堺ブレイザーズを迎え討つ

【諏訪湖周辺協会理事長 小松 宏】

11月12日（土）・13日（日）、岡谷市スワンドーム（岡谷市民総合体育館）において、VC長野トライデンツのホームゲームが開催されました。

初日12日のVC長野トライデンツのスタートは素晴らしく、抜きつ抜かれつの緊迫した展開になりました。終盤までもつれたものの、27-29でセットを落としてしまいました。以降のセットは堺ブレイザーズに押し切られる場面が多く、0-3で敗れました。

翌13日（日）の第1セットは終始リード保ち、前日の鬱憤を晴らすがごとく25-22で勝ち切り、会場の声援も相まって素晴らしいスタートを切りました。その後、第2セットもデュースにまで持ち込みましたが競り負け、第3セットも厳しい展開になりました。第4セットは一転、リードを保ちつつも終盤のミスが連続失点に繋がり、最後は非常に残念ながらブロックされて敗戦となりました。

新型コロナウイルスも感染が拡大して医療特別警報が発出される中、各チームは勿論のこと、地元協会員のボランティアの皆様には、感染対策をしっかりと行って頂きながら、各持ち場にて存分に力を発揮頂きました。心より御礼申し上げます。

最後になりますが、今後のVC長野トライデンツの戦いに大いなる奮闘を期待して、精一杯のエールを送ります！



長野GaRonsのホームゲームがいよいよ開幕!!

【大会コーディネーター 黒岩龍也】

V3リーグがいよいよ開幕しました。V3は昨年度までは4チームでしたが、今年度から6チームが加わり計10チームでの3回戦総当たりとなりました（全27回戦）。

長野 GaRons は11月19日（土）・20日（日）、長野市信州新町体育館においてホームゲーム開幕戦を行いました。ここまで長野 GaRons は2勝1敗の4位と好位置につけています。ホームゲームで勝利を収めてさらにポイントを積み上げたいところです。

19日（土）はトヨタ自動車との一戦。どのセットも手に汗握る熱戦を繰り広げましたが、あと一歩及ばず1-3で敗れました。

20日（日）は、トヨタモビリティとの対戦でした。この試合で長野 GaRons は、安定したレシーブからの多彩な攻撃で終始相手を圧倒。ブロックも要所で決まり、3-0でホームゲーム初勝利を飾りました。

ホームタウンである須坂市以外での開催は初めてのことでしたが、久しぶりの有観客試合ということもあって、子どもからご年配の方に至るまで多くの方々が応援に駆けつけて下さいました。次回のホームゲームは12月3日（土）・4日（日）。須坂市民体育館にクボタスピアーズを迎えて行われます。多くの皆様方の応援をよろしくお願い致します。



GSS東京サンビームズは今季初勝利を挙げるも連勝は成らず

【佐久平協会理事長 宮澤 智昭】

11月5日(土)・6日(日)、紅葉が見頃を迎えた軽井沢町の風越公園総合体育館にて、GSS東京サンビームズのホームゲームが開催されました。

今大会は有観客での開催となり、300人を超える観客が来場しました。昨年に引き続き、今大会も競技スタッフは最小限ということで、クイックモッパー、ボールリトリバーは配置せず、ワンボールシステムで運用しました。軽井沢スポーツ協会様のご協力もいただきながら、無事終了することができました。



GSS東京サンビームズは5日、千葉エンゼルクロスとの対戦。セットカウント3-1で勝利し、今季初勝利を飾りました。6日は、今シーズンから元全日本代表の斎藤真由美監督率いる群馬グリーンウイングスと対戦。セットカウント1-3で惜しくも敗れ、連勝とはなりませんでした。

手に汗握るラリーが多く、見応えのある素晴らしい大会となりました。



第14回北信越実業団9人制男女選手権大会

松本市役所男子が3位に入賞！

【県実業団連盟理事長 島津鉄男】

11月5日(土)・6日(日)、石川県金沢市において表記大会が3年ぶりに開催されました。実業団チームは現在、コロナ禍の中で活動の制約も有り、練習や対外試合もチームによっては思うようにならない状況です。

今大会には男子5チームのエントリーがあり、県内からも松本市役所が参加しました。大会は5チームによる総当たりリーグ戦を2日間で実施。諸事情で選手9人のみの松本市役所は、2勝1敗で迎えた最終戦、北陸電力石川に勝つと優勝という試合を残念ながら0-2で落とし、惜しくも3位という結果でした。結局、松本市役所に勝った北陸電力石川が全勝で初優勝を飾りました。

この大会は、来年は福井県で開催されます。より多くの男女チームが参加出来る状況になるよう願っています。



長野スピリッツが前年に引き続き男女アベック優勝を飾る

【県クラブ連盟理事長 桑原康秀】

11月6日（日）に安曇野市において標記大会が開催されました。

男子10チーム、女子3チームが参加し、男子はリーグ戦での予選の後に決勝トーナメントを行い、女子は総当たりのリーグ戦を行いました。大会は、県協会の感染対策マニュアルに従い、選手、スタッフ、観客の御理解と御協力をいただいていた開催となりました。

本大会は、強化だけではなく普及も目指し、MRS登録を必要としない大会として開催しております。今回も初出場のチームがあり、今後のバレーボール人口の拡大につながればと思います。試合結果は長野スピリッツが前年に引き続き男女アベック優勝を飾りました。

コート準備から片付け、そして審判まで、参加全チームに率先して行っていただき、クラブチームらしい良い大会になったと感じた1日でした。



令和4年度 収支会計 中間監査を実施

【県総務委員長 赤間善浩】

11月17日（木）、鈴木正弘監事、脇坂清志監事による中間監査が実施され、上半期分の帳簿など関係書類の確認が行われました。今年度もコロナの影響等により収支については厳しいものがありますが、会計事務については、概ね適切に処理されていることが確認されました。要改善事項として、大会等の旅費日当受領印の不備が散見されました。今後、サインの是非も含め問題を整理したうえで、再徹底を図って参りたいと思いますので、加盟団体の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

11月 試合結果

- ◇ 第14回北信越実業団9人制男女選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.11.6_hokusinetu_jitu9.pdf

- ◇ 2022-23 V.LEAGUE Division2 WOMEN (11/5~6 GSS 東京)
<https://www.vleague.jp/form/a/27867>
<https://www.vleague.jp/form/a/27869>

- ◇ 第43回長野県ママさん連盟 上小大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.11.6_mamasan_jyosyo.pdf

- ◇ ミズノ杯第21回長野県クラブ選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.11.6_MIZUNOcup_6culb.pdf

- ◇ 第75回全日本高等学校選手権大会 県代表決定戦
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.11.13_haruko_daihyo.pdf

◇ 第7回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.11.13_softfree_zenkoku.pdf

◇ 第13回全国ヴィンテージ8's交流会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.11.13_vintage.pdf

◇ 2022-23 V.LEAGUE Division1 MEN (11/12~13 VC長野)
<https://www.vleague.jp/form/a/27714>
<https://www.vleague.jp/form/a/27715>

◇ 2022-23 V.LEAGUE Division3 MEN (11/19~20 ガロonz)
<https://www.vleague.jp/form/a/28119>
<https://www.vleague.jp/form/a/28121>

◇ 第92回全日本9人制総合男子選手権大会
◇ 第91回全日本9人制総合女子選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.11.27_9sogo_zenkoku.pdf

◇ 第30回全国ソフトバレー・シルバーフェスティバル
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.11.20_softsilver_zenkoku.pdf

◇ 2022-23 V.LEAGUE Division1 MEN (11/26~27VC長野)
<https://www.vleague.jp/form/a/27728>
<https://www.vleague.jp/form/a/27729>

◇ 2022-23 V.LEAGUE Division2 WOMEN (11/26~27 ルートインホテルズ)
<https://www.vleague.jp/form/a/27888>
※11/27は中止

12月スケジュール

12/3(土)~4(日)	2022-23 V.LEAGUE Division3 MEN (ガロonz)	(須坂市)
〃	あすなろU-10長野県小学生交流大会	(小布施町) (山ノ内町)
12/9(金)~11(日) 12/17(土)~18(日)	天皇杯・皇后杯 全日本選手権大会 ファイナルラウンド	(東京都)
12/10(土)~11(日)	北信越連盟 組織団体運営会議	(石川県)
12/16(金)	県スポーツ協会 理事長・競技力向上専門委員合同会議 (国体種目)	(長野市)
12/17(土)	県スポーツ協会 長野県地域スポーツカンファレンス	(WEB)
12/18(日)	JOCジュニアオリンピックカップ 第36回全国都道府県対抗中学大会 長野県選手団 壮行会	(塩尻市)
12/19(月)	第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 長野県準備委員会 デモンストレーションスポーツに係る競技団体説明会	(WEB)
12/25(日)~28(水)	JOCジュニアオリンピックカップ 第36回全国都道府県対抗中学大会	(大阪府)